



寺報法蔵
平成31年春彼岸号
発行 長田善生
日光市大桑町270
TEL(21)8220
浄土宗 法蔵寺
開創 631年

前向きに！前へ！

〜仏法を聞きにお寺へ行こう！

今年の冬は雪が少なかったように感じます。日差しがだんだん暖かくなり、境内の木々も少しずつ息を吹き返しているように感じます。

*** **

さてご存知の方は多いと思いますが、競泳の池江璃花子選手が白血病であることがわかりました。大変衝撃的なことです。

現代の医療で治る可能性が昔より高くなったと聞きましたが、難病であることは変わりません。

心から回復を願ってやみません。

*** **

池江選手は、「乗り越えられない壁はない」と、病を乗り越え

ようと前を向こうとしています。気持ちはまだまだ整理できないことでしょう。誰にでもできることではありません。

*** **

私たちには避けることができなない苦しみがある四つあると仏典にはとられています。

一、人生を生き抜くこと

二、老いて衰えていくこと

三、病気になること

四、死んでいくこと

どれをとっても辛いことです。

避けられないことを、どう受け止めたらいいか。それは池江選手のように前向きにとらえることです。

法話・これからの行事予定
新総代ごあいさつ・地藏堂落慶
彼岸法要案内・歌碑建立報告
さくらまつり・雅楽演奏会案内
様々な供養のかたちをご提案

一面
二面
三面
四面

人生良いことも悪いこともある。だったら良いことに「ありがとう」と生きる。

年を重ねると、難儀が増える。

その時は出来る事を出来るだけで満足してみる。『我、唯足ることを知る』とは禅語の名言です。

病気は大変つらい。でも病気になるって気付くこともある。養生しながら気付いた事を他者に伝えることもいいでしょう。

死は誰もが迎えます。その怖さ、苦しみをどう乗り越えるか。

その答えは「仏法」にあります。

心が充実した人生、人に感謝され、惜しまれながら旅立つ。そんな人生いいですよ。

お寺では、法要や法事の際に仏法を説き、前向きに人生を歩むお手伝いをしています。ぜひお気軽にお越しください。合掌

これからの行事予定

『春彼岸法要』

三月十七日(日)

午前十一時〜

*初彼岸を迎える方は本堂にお参り下さい。

*本堂正面が入り口です。

『さくらまつり』

〜春の雅楽演奏会〜

四月十四日(日) 十時〜

雅楽演奏・十一時・十四時

おしゃカ様の誕生を祝う

「花まつり」開催。



手打ちそば露店、小物販売、骨董店など出店

※本年より、雅楽演奏会は年に一回開催です。

一回開催です。

『増上寺御忌参拝と目黒川』

さくら花見クルーズ

四月五日(金)

定員になりました。檀信徒を代表し四十名が参拝します。